

パラリンピック水泳日本代表
神戸市 野村真波選手



ロンドン・パラリンピックには、神戸市から野村さんのほかシッティングバレーで栗野さんが出場します。みんなで応援しましょう!!



～障がい者施策について～

障害者自立支援法が施行されると、法律が違憲であると各地で国に対して訴訟が行われ、その後、話し合いの結果、平成22年1月7日、障害者自立支援違憲訴訟原告団・弁護団と国（厚生労働省）とで合意文書が交わされ、各地方裁判所において訴訟が終了しました。

この文書には、「国（厚生労働省）は、速やかに応益負担（定率負担）制度を廃止し、遅くとも平成25年8月までに、障害者自立支援法を廃止し新たな総合的な福祉法制を実施する。」等が盛り込まれ、早急な法整備が必要でした。

平成22年12月に公布された改正法は、平成25年4月までに順次施行されてきましたが、このたび、6月20日、自立支援法に代わる「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」が成立し、6月27日に公布されました。

来年度、難病患者に対する支援拡充などが始まることとされていますが、支給決定のあり方などは3年を目途に要望や意見を盛り込んでいくという内容で、これから詳細が決める予定です。



国（厚生労働省）



訴訟原告団
弁護団



神戸市では、障がい者に関わる施策は、上記のような法に沿って「神戸市障がい者保健福祉計画2015」という計画を策定し実行に移されていきます。

この中では、障がい者が地域の中で暮らしやすいように取り組む施策や、就労支援の施策が盛り込まれています。障がい者の就労は、一般就労を増やしていくこと、福祉的工賃を上げていくことを目標に、就労推進センターを設置するなど取り組まれています。

福祉的就労の工賃の目標は、現在の¥13058（H21年実績）から、H27年に¥21000に上げていくものとされていますが、行政と当事者だけの努力ではなかなか達成が難しい目標です。私たち市民も、少しずつ協力をして、みんなで支え合う社会にしていきたいませんか？

垂水区 作業所の製品マップ(+相談窓口)について

裏面に、垂水区の中の作業所と、そこで作っている製品をマップと一緒に掲載しました。「意外と近いのに、知らなかったなあ」なんてありませんか？どの作業所も、実際に行って製品をその場で売ってもらいましたので、ご近所であれば直接訪問してみることもできますよ。ただし、送迎やその他で留守になる場合も多いので、電話してみてください。

〒655-0034 神戸市垂水区中田 3-1-8-202
(垂水支部) 神戸市議員 川原田弘子事務所
TEL&FAX 078-709-8998
e-mail: happy@hiroko-club.com
URL: <http://www.hiroko-club.com>

ご相談は
こちらに



〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1
民主党神戸市会議員団
TEL 078-322-5844
FAX 078-322-6161

野村さんにインタビューしました。

弘: 百年記念病院の看護師さんになられるまでの経緯をお聞かせください。

真: 静岡の看護学校在学中の20歳の時に交通事故に遭いました。右腕がだめでだんだん壊死してくる時に、落ち込み悩みましたが、やっぱり看護師になりたいと、右腕の切断を決め、義手を制作するために神戸の(玉津)リハビリ病院にやってきました。病院の中で出会った障がい者の方々の明るさに励まされ、先生からリハビリのために水泳を薦められました。最初は歩くだけでしたが、神戸楽泳会の人々と出会い、水泳をするようになりました。病院の皆さん、楽泳会のみなさんにも本当に助けられました。静岡に戻って1年半復学し、看護師試験に合格しました。

お世話になった神戸のみなさんに恩返しをしたい！励まされた神戸の街、大好きな神戸の街で働きたい！との思いで神戸で就職を探した際、快く受けていただきました。(ほかにも合格されています。)

弘: 静岡のご両親は、神戸で働くことについて、とっても心配だったのでは？

真: そうなんです。ひとりで暮らすことになるから、例えば買い物した荷物が持てるかな、とか、職場でどうだろうとか、心配だったようです。でも、私の明るさ、大好きな神戸の街で、大好きな神戸の人たちに囲まれて働いて、水泳している、幸せな私を見て、安心しているようです。

弘: 3年くらい前に市の大会で真波さんがぶっつきぎりで泳ぐ姿を見ました！！

真: 代表に選ばれたので、応援してくれている神戸の皆さんのためにも、がんばってきます！！

～～～ がんばれええええ ～～～ まあなあみいしいい ～～～



野村真波
1984年生まれ
静岡県出身
現在、神戸百年記念病院に
看護師として勤務の傍ら、
神戸楽泳会に所属し水泳選
手としても活躍。
北京パラリンピックでは平
泳ぎで4位に入賞。



パラリンピック・ロンドン大会は、
8月29日(水)～
9月9日(日)
で開催されます。

千晶さんにインタビューしました。

私のご近所さんで、重い障がいを抱えながら長女・萌子ちゃんをご出産され、元気に暮らしている石橋千晶さんをご紹介します。

脳性まひのため、両手・両足が不自由な状態ですが、とても明るくしっかりしたお考えをお持ちです。ヘルパーさんに手伝ってもらって子育てががんばっているところにお邪魔しました。



石橋千晶さん一家です。左の車いすは、千晶さんのお父様とご主人の作った特別ベビーチェア付きです。

弘: 萌子ちゃんは今、何歳ですか？

千: 5月が誕生日なので、1歳と少し。つたい歩きはします。

弘: 子どもを産もうと決断したきっかけとかありますか？

千: 決断というより、40歳が近づいてきて、産むなら今だなーと思っていたら授かりました。

弘: テレビで、同様な境遇の方の子育ての話をやってましたね。

千: 私はどちらかというと、あまり、大変さばかりを強調してもらいたくないんですけどね。。だって、大変だって言えば、健常者だって、例えば仕事をなくしたら大変ですよ。私は身体の障がいだけど、精神の障がいの人や、うつで苦しんでいる人、大変な人は、いっぱいいるんです。脳性まひの大変なことばかりを強調するのはちょっと抵抗がありますね。(私は、この言葉を聞いて、千晶さんの懐の深さ、まわりの人への優しさを身に染みて感じて、少しうるうるときてました。)

弘: ヘルパーさんと、とてもいい関係ですね。

千: 本当にみんなよくやってもらっています。私は、母親だからと意地を張って頑張らずに、できないことはできないと決めて、ヘルパーさんに手伝ってもらっています。ヘルパーさんには本当に感謝しています。

弘: 千晶さんの身体は、自分の意思と違うところで筋肉が緊張するんです。だから、ぐっと力が入って、何もしてなくてもとても疲れる。無理ができない身体なんです。千晶さんとは3年くらいになりますが、人柄の良さでしょうか。

<感想> 1時間ほどご一緒してもらいましたが、千晶さんと萌子ちゃん、ヘルパーさんのいい雰囲気はほのぼのと伝わってきました。(当日はご主人はお留守)萌子ちゃんは、千晶さんやご主人のあふれる愛情と、ヘルパーさんの愛情もたっぷり受けて育ちそうな感じでした。身体が少し不自由でも、こんなに自由で温かい空間があるんだと感じたひとときでした。